

2022年4月1日から2023年3月31日までに、特定家庭用機器再商品化法に基づきサムスン電子ジャパン株式会社が実施した再商品化等実績をご報告します。

## 特定家庭用機器廃棄物実施状況の総括(2022年度)

	テレビ	液晶テレビ	冷蔵庫	洗濯機
引取台数(台)	3,668	2,087	378	1,801
処理台数(台)	3,678	2,090	3,842	1,821
処理重量(t)	92	35	250	76
再商品化重量(t)	65	29	203	69
再商品化率(%)	70%	84%	81%	90%

※値は全て小数点以下を切り捨て

## 施行規則第47条第1号に基づく総括(2022年度)

- 1 製品の部品または材料として利用するものに有償または無償で譲渡する状態にした場合の当該部品および材料の総重量(t)

	テレビ	液晶テレビ	冷蔵庫	洗濯機
鉄	9	12	94	95
銅	4	0.3	4	4
アルミニウム	0.1	1	1	1
非鉄・鉄等混合物	0.1	2	29	29
ブラウン管ガラス	32	0	0	0
その他有価物	20	15	74	74
総重量	65	29	203	203

- 2 冷媒として使用されたものを回収した総重量(kg)

冷媒として使用されていたフロン	回収重量	出荷重量	再生又は再利用した重量	破壊重量
CFC-12	39	38	0	37
HCF-134a	117	114	99	15
HCFC-22	21	20	6	14
R-502	7	6	0	6
総重量	184	178	105	72

- 3 断熱材に含まれる液化回収したフロン類の回収重量・出荷重量・破壊重量(Kg)

液化回収したフロン	回収重量	出荷重量	破壊重量
総重量	369	362	347

\*回収重量と出荷重量の差は在庫である

\*出荷重量と破壊重量の差は破壊報告のタイムラグによるもの